

ち、二番目のお兄様は農業を継承されているそう。「仕事に使う軽トラックが3台、父の乗用車が1台。兄たちもクルマを持っていますので、小さい頃からクルマに囲まれてきました」。そんな岡部さんが運転免許を取得するのは自然な流れかもしれないが、きっかけを伺うと「帰省する際、公共交通機関だと値段が高く、時間の自由度がありません。またこれまで移動は自転車や公共交通に頼ってきましたが、天候に左右されることが多く、クルマが良くな〜と感じてきました」。

高校に進学してすぐ、写真部に所属している従兄弟に憧れて写真撮影に興味を持ったそう。「どんなハマリ、一眼レフカメラを手に入れて、野に咲く花や公園の桜、花火など撮影してきました。高文連に出版したり、今でも自身のインスタグラムで発表し続けています。次兄がクルマ好きなので、頼まれて愛車を撮影することもよくあります」。写真撮っていると、それらをまとめたフォトムービーにも関心を持ち、結果、専門学校で動画を勉強するに至ったとのこと。「編集よりも撮影の方が



共和町出身、札幌の専門学校で映像を学んでいる岡部鳳乃霞さん。ご実家は農業を営まれており、上のお兄様は札幌で家庭を持

様々なエリアへ写真撮影に出かけたい

札幌市在住 19歳 岡部鳳乃霞（おかののかさこ）さん

好きですね。動画も写真も、その場の光景や時間を切り取るのが面白いです」。

なるほど、もはや趣味の域を超えそうな勢いなので、お仕事もクリエイティブ関連かと思いきや「郊外の観光ホテルに就職が決まりました」と伺ってびっくり。「制作業界で道内の就職はなかなか厳しくて。でも道外へ出たくない気持ち強く、いろいろな経験を積みたいという想いもあって決めました」。しかし趣味の写真と学んでいる動画は、来春からのホテル勤務で活かせそうだという。「観光で来られるお客様向けに、ホテル周辺の環境を撮影しInstagramでご紹介するような、広報のお仕事もあるんです。今からとても楽しみです。ですが、海外からのお客様も多いので、語学を勉強しなければと少し焦っています（笑）」。明るくアクティブな印象の岡部さん。自身が勤務するホテルを紹介する

可愛いクルマが欲しいので、スズキ・ハスラーが第一候補です！



を、花々、動物などを自ら撮影して公開する。そんな毎日を送ることができたらとても楽しそうだ。

運転免許 第25回 夢見るカーライフ



取材・写真／横山聡史 (Lucky Wagon)

家族のサポートや友人とのドライブに免許を役立てています

札幌市在住 20歳 星野航之介（ほしのこうのすけ）さん



札幌の大学に通う星野航之介さん、今年7月初旬に運転免許を手にしたばかり。札幌のご実家にはお父様が仕事で使うクルマと、主にお母様が

運転する家族用のクルマがある。運転免許取得の動機を伺うと「中学生の妹がいるのですが、習い事の送り迎えや、日々の買い物などほとんどを母がこなしているんです。少しでも助けになればと思いついて」という、なんとも優しさに満ち溢れた返答が返ってきた。星野さんが運転するクルマは必然的に、家族用のトヨタVOXYになる。「ボディが大きいので少し心配ですが、少しずつ慣れていこうと思います」。

大学ではスノーボードサークルに所属しており「まだ始めたばかりなので、ハーフパイプのような場所ではうまく滑ることができませんが、スタイリッシュなスポーツだと思っています」。訊けばサークルの仲間も学部の友達も、ほとんどが運転免許を取得しているとのこと。「逆に、え？ 免許持っていないの？というくらい状況です」。非常に嬉しい情報である。お父様が保険関係のお仕事をされており、「小さい頃、父が寝かしつけてくれる時には交通事故の話聞くことが多かったんです。絵

サークルで雪山へ行ったり、彼女とカフェ巡りもしたいですね



週のように当別へ行き、祖父母の畑を手伝ったり、野山や川で遊んだことですね。キャンプにもよく出かけました」。時間に縛られず、どこへでも行くことができるクルマの魅力を幼少の頃からたっぴりと味わってきたのだという。

欲しいクルマを伺うと「ジムニーですね。あのスタイルと走破性に男のロマンを感じます」ときっぱり。日本が誇る本格オフローダー・ジムニーの名前と、もはや死語と思われた「男のロマン」という言葉が飛び出し、こちらも大いに盛り上がりつつあった。実はVOXYからジムニー・シエラに買い換える話も出たが、祖父母を乗せる際などスライドドアの方が便利という理由で却下されたそう。だからこそ星野さんが自分自身の愛車を選ぶ際の筆頭候補なのである。まだ先のこととはいえ、いつの日か必ず男のロマンを叶えていただきたい。

北海道中央自動車学校

札幌市東区北25条東1丁目1-17 TEL 011-711-3344
代表：工藤博樹 学校長：佐藤隆幸



充実した施設とカリキュラム、そして夜10時までのロングラン教習が在校生に好評。地下鉄南北線「北24条駅」から徒歩8分にある。学科コースのほか、各種安心プランを充実。AT教習車にはトヨタ教習車を採用していることも特徴のひとつ。教習・検定ともに土・日・祝日も実施。各検定試験の合格率は常にトップクラスを誇る。



職員からひと言

北海道中央自動車学校
教習課 主事

川崎 幸子さん
(かわさき さちこ)

最近では外国人の生徒さんが増え、中国・韓国・ベトナム・インド・バングラディッシュなど、当校は国際色豊か。留学生の方から札幌に永住されている方まで様々です。日本語が堪能な方も多いですが、微妙なニュアンスが伝わらないこともあり、身振り手振りや簡単な英単語を使うなど工夫しています。中国の方を担当した際には、「右折」「左折」の中国語を生徒さんから教えていただいたり、うまく操作できた際に中国語で褒めて差し上げたりと、コミュニケーションの重要性を再認識したことがあります。皆様にも是非、相互理解とともに無事故無違反をお願いしたいと思います。クルマにまつわる思い出は楽しいものだけの方が良いですからね。